【推しのCompany】 ～調査員 金谷福丸のオススメ企業～

株式会社財コンサルティング

TDB企業コード：582705562
法人番号：1120001110355
所 在 地：大阪市北区芝田１－１－４　阪急ターミナルビル８階
Ｔ Ｅ Ｌ：06－6373－1623
設　　立：1999年１月
代　　表：田中　唯 氏
従業員数：22名
事業内容：FPコンサルティング
HP URL：https://www.4143.com/

代表取締役社長　田中　唯 氏

資産運用という言葉がまだ浸透してなかった25年前。「正しい資産運用の知識を広め、人生を豊かにする手助けをしたい」という思いで創業されたのが、（株）財コンサルティング（通称：財コン）である。資産形成の必要性が浸透していなかった時代から個人向け少額積立投資を続けた財コンは、今日の金融業界で独自の地位を築いている。

✦創業と成長の背景

創業者である稲葉充氏は、大学卒業後に大手証券会社に就職し、個人向けの少額積立投資事業を立ち上げようと試みた。ただ、当時はバブル期。上層部からは「儲からない」という理由で提案を退けられる。そこで稲葉氏は独立し、1999年に（株）保険活用クリニック（現：財コン）を設立。同氏の信念と熱意で口コミが広まり、2008年には顧客数2000人に達するまでに成長した。

✦会社を変えた２つの転機

財コンにとって大きな転機となったのが2008年のリーマンショックだ。発生から１カ月後、稲葉氏は顧客向けの緊急セミナーを開催。株を中心に、ポートフォリオをリバランスすることを説明した。顧客からは困惑や反発の声が上がったが、稲葉氏は原理原則に従う姿勢と一貫した説明、そして熱意で、最終的には参加者全員の同意を得る。その結果、値が回復するのに数年間を要する商品が多い中、財コンのポートフォリオは１年で大きく値上がりし、財コンの評判は大きく広まった。こうして飛躍を遂げた財コンであったが、2014年、外務員登録をしていない社員が投資信託勧誘をしたとして行政処分を受ける。内部統制の甘さが露になったこの出来事は、会社の在り方を見直すきっかけとなった。この時期に、現社長の田中氏が入社したことも、改革を進めるのにプラスだったと言える。新規営業の停止、会員制度の開始、助言ライセンスの取得。「顧客と共にライフプランを作り、達成させること。」そのための仕組みを作り上げていった。

✦財コンの使命と未来

財コンは、個々の職員の相場観や巷の流行に合わせた商品選びを行わず、当社が推奨する投資信託に限定している。短期間での乗り換えを行わないことは、財コンの大きな特徴の一つであり、顧客本位の姿勢を強く表していると感じる。

財コンのクライアントは一般の会社員などの中間層が多い。田中社長は「金銭的余裕が大きくない世帯ほど、未来の安心のために資産形成が重要である」と強調する。個人による資産形成が推進されるなか、勤務先である企業が金融教育の機会を提供していると従業員エンゲージメントが高まるとの調査もあり、最近では従業員への福利厚生の一環として、企業から財コンに資産運用セミナーの依頼が来ることも増えているという。

財コンの次なる野望は、財コンの考え方に共鳴し、同様の形で国民の生活を支える金融コンサルタントの出現だ。「財コンスピリット」が広く浸透し、金融業界に一石を投じる存在になることを期待してやまない。

（大阪支社調査第３部第１課　金谷福丸）